

事件から数ヶ月のち梅雨に入ろうという頃、4人の元に栗花落から手紙が届いた。

“

この頃は皆様いかがお過ごしですか
こうして獄中から手紙をお送りすることを許してください
ノート等支給されるので、あの頃を思い返して文章にするけれど
法に守られているのはあの頃より今現在だと感じています
がんばらなくてもアザが増えないのは
よいこと…ですね
ほんとうに人生というものは
どう転ぶか分かりませんね
天に感謝しないとバチが当たるかもしれないと思います
獄中から変な手紙を出してごめんなさい
だけど、けども、自分は犯人ではありません、どうか信じて

”

すぐに釈放されるだろうという犯人の思惑叶わず、動機が重視され逮捕。
いつ栗花落が解放されるか分からない中、全員の心には雨が降り続いている。

あめかんむり 梅雨入りの雨

—end—

produced by kanata-W